

交通・観光カーボンオフセット モデル事業について

平成22年5月27日

交通エコロジー・モビリティ財団

構成

- I . 交通・観光カーボンオフセット
支援システムの概要
- II . モデル事業の募集について

I . 交通・観光カーボンオフセット 支援システムの概要

カーボンオフセットとは

自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)すること



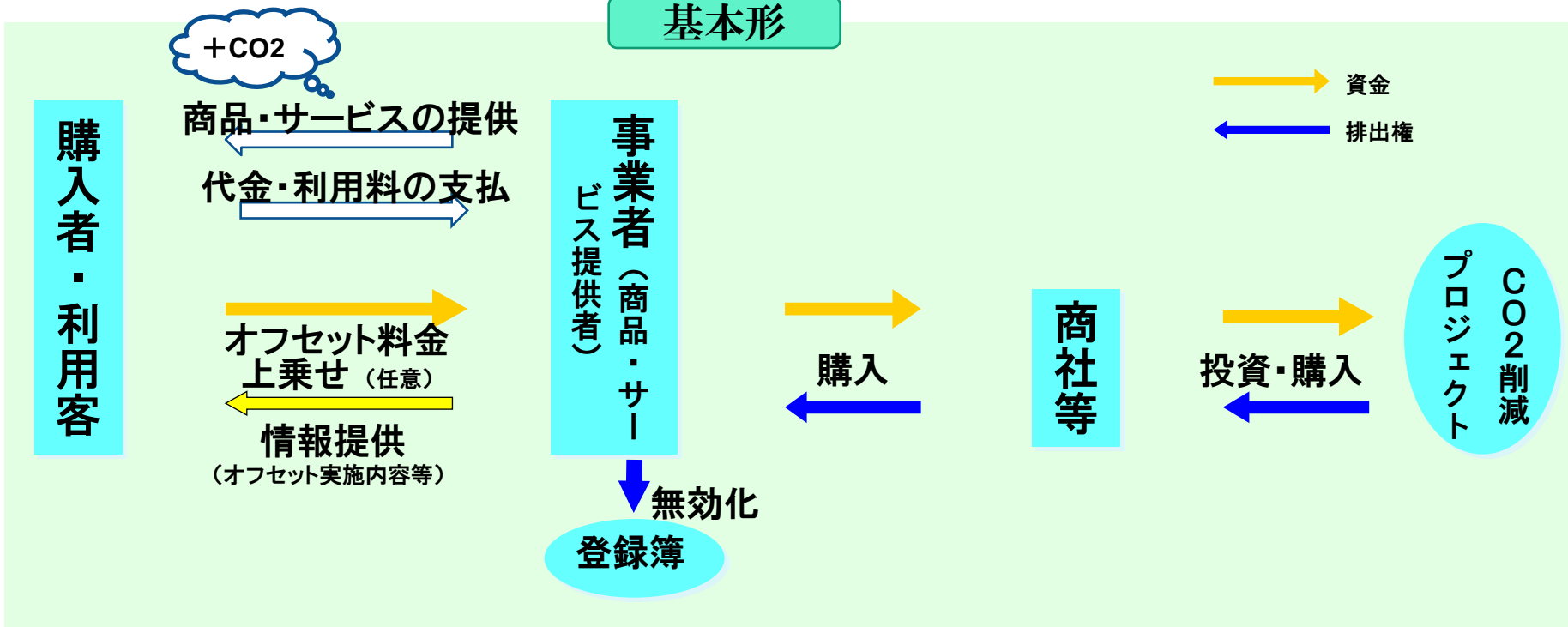
※クレジット(温室効果ガスの排出削減・吸収量)

温室効果ガスの排出を削減又は吸収するプロジェクトを通じて生成される排出削減・吸収量の総称。
第三者機関によって認証されているクレジットとそうでないものがある。

カーボンオフセットのイメージ

～商品使用・サービス利用関連～

基本形



プロバイダー契約ケース

事業者がカーボンオフセット・プロバイダーと個別に契約し、以下のサービスの提供を受ける。

- 1) 排出権の小口化
- 2) 排出権の無効化手続代行
- 3) 事業者へのコンサルティング

交通・観光カーボンオフセット支援システムのねらい

- エコモがカーボンオフセット・プロバイダーと業務委託契約
→ 左記1)2)も委託の一部 → 個別契約の手間から解放 → 規模の利益も享受
- システム構築に先立ち、「交通・観光カーボンオフセットガイドライン」を公表
- ガイドラインに則った排出量算定が簡単にできるページをシステム内に構築
- 情報提供すべき事項や、情報提供の具体例をシステム参加事業者に提示
→ 左記3)のコンサルティングの必要性を軽減

交通・観光カーボンオフセットガイドライン

➤2009年7月公表(2009年11月30日改訂)

➤国土交通省推奨

➤対象業種

バス、タクシー、宅配、レンタカー、旅客船、ホテル、旅行

➤提供している内容

カーボンオフセット実施に当たり必要な下記事項のうち、赤字の事項について考え方を提示

- ① オフセットの対象範囲の設定
- ② 排出量算定方法の決定・算定
- ③ オフセット料金の設定
- ④ オフセット料金の徴収方法の決定
- ⑤ オフセットに関する情報提供内容の設定
- ⑥ オフセットに関する情報提供方法の設定
- ⑦ 排出削減クレジットの調達・排出量のオフセット

交通・観光カーボンオフセット支援システムの概要

ねらい

- ・ 交通・観光関係事業者によるカーボンオフセットの取組みをやすくし、同業界でのカーボンオフセットの普及を図る。

対象業種

- ・ 航空、鉄道、バス、タクシー、宅配、レンタカー、旅客船、旅行、ホテル

運営体制

- ・ **運営主体(エコモ財団)**
 - ・ 支援システムの設計・見直し
 - ・ 支援システムの運用(利用申請受付・審査、その後の審査等)
 - ・ WEBシステムの運用・メンテナンス
 - ・ 普及推進活動
- ・ **運営委員会**
 - ・ 概要: 運営主体内に設置し、原則年1回開催
 - ・ メンバー構成: 学識経験者、専門家、業界団体代表数名、国土交通省
 - ・ 役割: 支援システムの運用方法に関わる基本事項の決定及び改訂の承認
 - ・ 選択肢として提供するクレジットの大枠の承認など
- ・ **カーボンオフセットプロバイダー**
 - ・ クレジットの調達および無効化
 - ・ 運営主体からの業務受託(アンダーラインの項目)

交通・観光カーボンオフセット支援システムの特徴

CO₂排出量の算定が簡単

- WEB上に業種別の算定ページを用意しています。

クレジットの購入が容易

- WEBを通じてクレジットを事前購入していただきます。最小購入金額は1万円で、千円単位となります。購入したクレジットを用いた個々のオフセット実施はkg単位で可能です。

低コスト

- 年間利用料は1万円。システム全体の取扱量増加につれ、クレジット単価も割安になります。

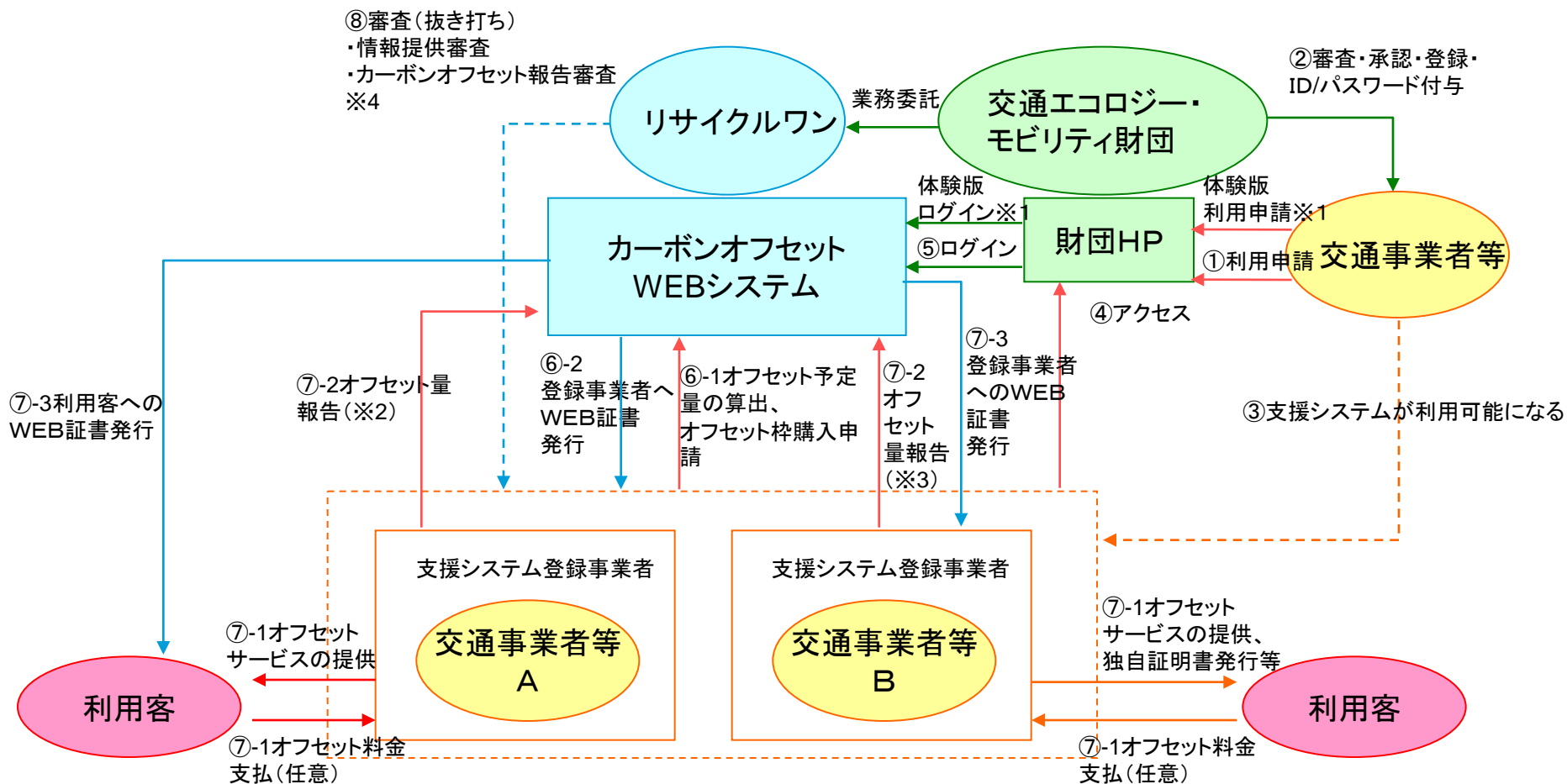
利用客への適切な情報提供を支援

- 情報提供規程を設けると共に、WEB・チラシでの情報提供例を提示します。

透明な運営

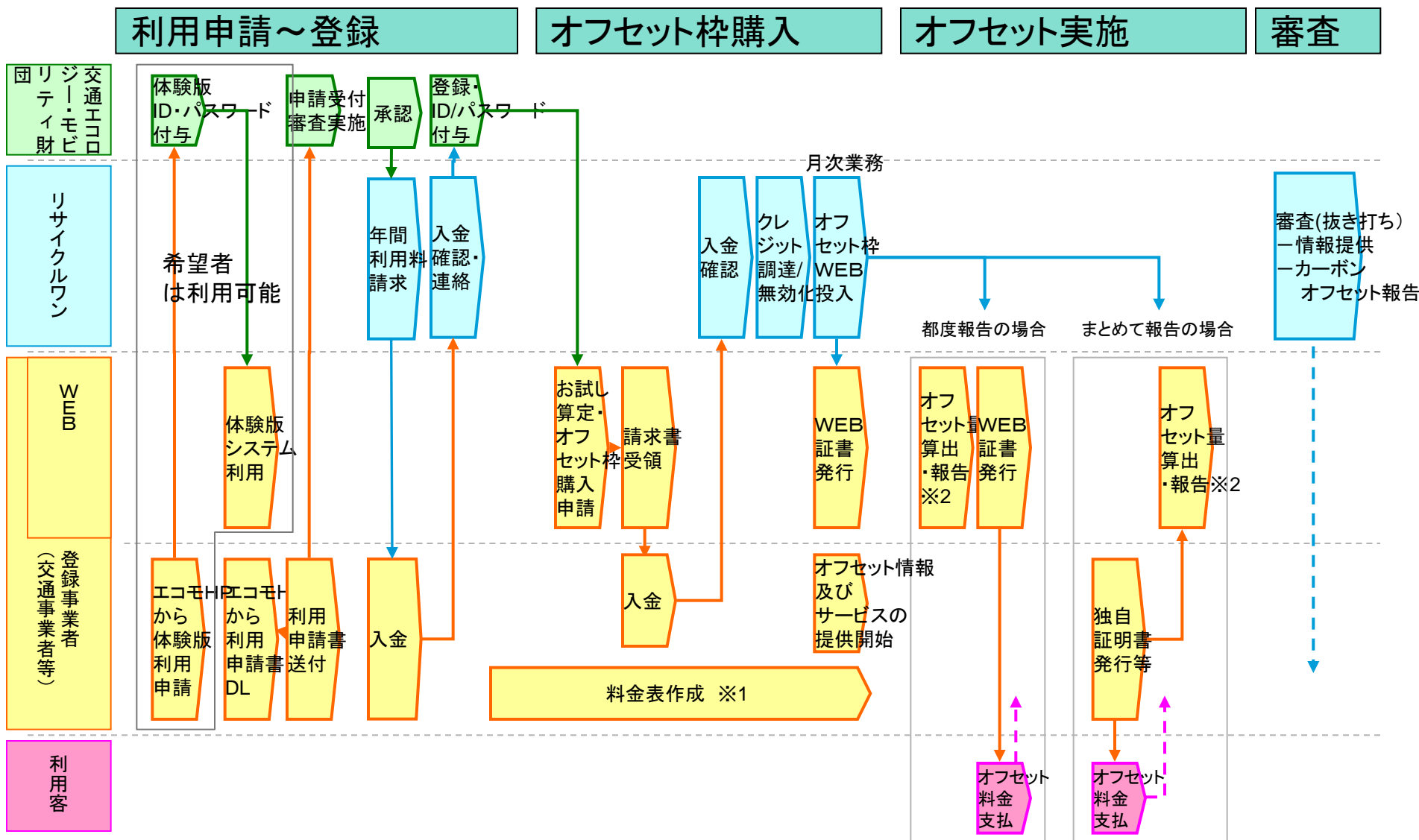
- 学識経験者、業界団体、国土交通省等からなる運営委員会を設置し、主要事項について承認・助言を得ます。

交通・観光カーボンオフセット支援システムのスキーム



- ※1 必要であれば利用申請前に体験版システムを利用することは可能
- ※2 都度で報告
- ※3 まとめて報告
- ※4 各登録事業者から年間利用料1万円を徴収し、⑧の審査費用に充当

交通・観光カーボンオフセット支援システムのフロー



※1 詳細はこちら http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_scheme.html

※2 かんたんオフセットを利用する場合は、WEBでのオフセット量算出は不要

支援システムを利用した事例

事業者名 (業種)	(株)YBST&L (旅行業者)	(株)おさひめコーポレーション (タクシー事業者)
カーボンオフセットの概要	団体旅行へのカーボンオフセット導入	団体・企業等向けのタクシーチケットへの導入
オフセット対象	修学旅行中の航空機・バスでの移動により排出されたCO ₂ の10%	チケットによるタクシー利用で排出されたCO ₂
オフセット量	約9.6トン	非公表
オフセット料金	約48,000円	非公表
オフセット料金負担者	旅行参加者 (一人当たり約180円)	タクシー事業者
用いた排出権	インドの小規模水力発電プロジェクトから生じた排出権 (CER)	
証明書	団体(高校)あてに発行	チケット利用団体・企業等あてに発行(月1回)

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：**その1 (路線バス)**

12～17ページは
新たに追加しまし
た。

(1) オフセットサービスを導入する自社商品・サービスの決定

従業員のエコ通勤を推進する企業の
総務部をターゲットとする商品を！



カーボンオフセット通勤定期券の導入を決定

(2) 排出量算定方法を決定し、排出量を試算

- ・2つの算定方法(交通・観光カーボンオフセットガイドライン3頁及び4頁に記載)のいずれかを選択
- ・システムに登録済みの原単位を用いるか、固有の原単位を用いるか
- ・支援システム体験版を利用すると排出量の試算が簡単(任意)

参加後はもちろん「お試し計算」機能が利用可能

“かんたんオフセット”の場合、
入力不要(オフセット金額のみ入力)

業種別の算定方法、登録原単位、入力項目

業種	本システムでの名称	準拠する算定方法	システムに登録する原単位	毎回入力する項目
航空	離発着地オフセット	Defra(英国環境・食料・農村地域省)の算定方法	—	発地、着地、人数
鉄道	区間距離オフセット	J-COFガイドライン	kg-CO2/人km	区間距離、月数、人数
	料金オフセット	J-COFガイドライン及び、当財団ガイドライン(4頁脚注6)	kg-CO2/人km、人km/円	プリペイドカード等の金額
路線バス	区間距離オフセット	当財団ガイドライン(3頁)	kl/人km	区間距離、月数、人数
	料金オフセット	当財団ガイドライン(4頁)	kl/人km、人km/円	プリペイドカード等の金額
貸切バス等	走行オフセット	当財団ガイドライン(5頁)	km/kl	走行距離、乗車人数、オフセット人数
タクシー	乗車料金オフセット	当財団ガイドライン(10頁)	kg-CO2/円	乗車料金額
	料金帯毎輸送距離オフセット	当財団ガイドライン(8頁)	km/kl、料金帯毎平均輸送距離	料金帯別乗車数
宅配	荷物オフセット	当財団ガイドライン(13頁)	kg-CO2/個	宅配個数
レンタカー	利用時間オフセット	当財団ガイドライン(15頁)	利用時間あたり平均走行距離、クラス別燃費	契約上の利用時間
旅客船	人kmオフセット	当財団ガイドライン(17頁)	kg-CO2/人km	航行距離、人数
ホテル	宿泊日数オフセット	当財団ガイドライン(19頁)	kg-CO2/室・日	宿泊日数
旅行	旅行オフセット	航空はDefra(英国環境・食料・農村地域省)の算定方法、鉄道はJ-COFガイドライン、貸切バス、レンタカー、ホテルは当財団ガイドライン(5,15,19頁)	上記該当原単位	上記該当項目

(注) 赤字は既存の統計データに基づいて計算した値を初期値として登録済み。

CO2排出量の試算例

① 算定方法として、区間距離オフセット(ガイドライン3頁に準拠)を選択

② -1 システムに登録済みの原単位を用いる場合

登録済みの原単位: 0.00002(kl/人km)

750(KJ/人キロ)* ÷ 1,000,000(KJ/GJ) ÷ 38.2(GJ/KL)で算出したもの

* 国土交通省統計データによる。

② -2 固有の原単位を用いる場合

システムに登録する原単位の算出:

燃料消費人キロ原単位(kl/人km)

= 年間総燃料使用量 (kl/年) ÷ 年間総輸送人キロ (人km/年)

③ 乗車料金区間別の3カ月間のCO2排出量

登録済みの原単位0.00002(kl/人km)を用いた場合は以下のとおり。

乗車料金区間 (円)	平均輸送距離 (km) *	3カ月間での一人当たりCO ₂ 排出量 (kgCO ₂ /人) **
150	3	19
200	5	32
250	7	45
300	9	57

* 仮定の数字

** 支援システムによる試算結果。

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：**その1 (路線バス) 続き**

(3) 排出権の選択

支援システム上の選択肢：

現在はCER[4.7円/kg(税抜き)]のみ。6月からJ-VERと国内クレジットを追加。



(4) 暫定オフセット料金の試算と、オフセット料金表の作成

- 暫定オフセット料金 = (3) で選択した排出権の単価(円/kg) × 排出量(kg) × オフセット割合(%)
オフセット割合は、支援システム上、全量、半分のほか、任意の%も入力可能です。

暫定オフセット料金の試算と料金表の作成

乗車料金区間 (円)	通常定期券代 (円)	暫定オフセット料金 (円)	カーボンオフセット定期券代 (円)
150	22000	95	22095
200	27000	160	27160
250	32000	220	32220
300	38500	280	38780

- 排出権単価4.935円(4.7円に5%の消費税を加算したもの)で計算
- オフセット割合は全量と仮定
- 正式オフセット料金は、事前購入した排出権の単価で計算

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：**その1 (路線バス) 続き**

(5) オフセット料金徴収方法の決定

- 一括購入する企業の総務部から、通常定期券代に上乗せして徴収（銀行振込）



(6) 利用客等への情報提供方法の決定

情報提供媒体：ホームページ、チラシ、企業向け提案書、定期券上にオフセットロゴマーク掲載等
証明書：企業宛て一括



(7) 商品の概要決定

支援システム利用申請書の提出へ

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：**その2**(タクシー)

(1) オフセットサービスを導入する自社商品・サービスの決定

競争の激しい〇〇地区に、他社サービスとの差別化のために導入する



「〇〇地区の一般利用客向け」への導入を決定

(2) 排出量算定方法を決定し、排出量を試算

- ・2つの算定方法(交通・観光カーボンオフセットガイドライン8頁及び10頁に記載)のいずれかを選択
- ・システムに登録する原単位を算出
- ・支援システム体験版を利用すると排出量の試算が簡単(任意)

参加後はもちろん「お試し計算」機能が利用可能

“かんたんオフセット”の場合、
入力不要(オフセット金額のみ入力)

業種別の算定方法、登録原単位、入力項目

業種	本システムでの名称	準拠する算定方法	システムに登録する原単位	毎回入力する項目
航空	離発着地オフセット	Defra(英国環境・食料・農村地域省)の算定方法	—	発地、着地、人数
鉄道	区間距離オフセット	J-COFガイドライン	kg-CO ₂ /人km	区間距離、月数、人数
	料金オフセット	J-COFガイドライン及び、当財団ガイドライン(4頁脚注6)	kg-CO ₂ /人km、人km/円	プリペイドカード等の金額
路線バス	区間距離オフセット	当財団ガイドライン(3頁)	kl/人km	区間距離、月数、人数
	料金オフセット	当財団ガイドライン(4頁)	kl/人km、人km/円	プリペイドカード等の金額
貸切バス等	走行オフセット	当財団ガイドライン(5頁)	km/kl	走行距離、乗車人数、オフセット人数
タクシー	乗車料金オフセット	当財団ガイドライン(10頁)	kg-CO ₂ /円	乗車料金額
	料金帯毎輸送距離オフセット	当財団ガイドライン(8頁)	km/kl、料金帯毎平均輸送距離	料金帯別乗車数
宅配	荷物オフセット	当財団ガイドライン(13頁)	kg-CO ₂ /個	宅配個数
レンタカー	利用時間オフセット	当財団ガイドライン(15頁)	利用時間あたり平均走行距離、クラス別燃費	契約上の利用時間
旅客船	人kmオフセット	当財団ガイドライン(17頁)	kg-CO ₂ /人km	航行距離、人数
ホテル	宿泊日数オフセット	当財団ガイドライン(19頁)	kg-CO ₂ /室・日	宿泊日数
旅行	旅行オフセット	航空はDefra(英国環境・食料・農村地域省)の算定方法、鉄道はJ-COFガイドライン、貸切バス、レンタカー、ホテルは当財団ガイドライン(5,15,19頁)	上記該当原単位	上記該当項目

(注)赤字は既存の統計データに基づいて計算した値を初期値として登録済み。

CO2排出量の試算例

① 算定方法として、乗車料金オフセット(ガイドライン10頁に準拠)を選択

② システムに登録する原単位の算出:

原単位【1円あたりCO2排出量(kg-CO2/円)】

$$\begin{aligned} &= \{ \text{年間総ガソリン使用量(L)} \times 2320[\text{ガソリン排出係数}](\text{kg-CO}_2/\text{kl}) \\ &\quad + \text{年間総LPG使用量(L)} \times 1680[\text{LPG排出係数}](\text{kg-CO}_2/\text{kl}) \} \\ &\div \text{年間総営業収入(円)} \end{aligned}$$

③ 原単位が0.001 kg-CO2/円であったと**仮定します**。
乗車料金別の排出量 

乗車料金(円)	排出量(kg-CO ₂)*
710	1
800	1
890	1
980	1
1,070	2
1,160	2
1,700	2
2,600	3
3,500	4
5,300	6

* 小数点以下を切り上げ

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：その2(タクシー)続き

(3) 排出権の選択

支援システム上の選択肢：

現在はCER[4.7円/kg(税抜き)]のみ。6月からJ-VERと国内クレジットを追加。



(4) 暫定オフセット料金の試算と、オフセット料金表の作成

- 暫定オフセット料金 = (3) で選択した排出権の単価(円/kg) × 排出量(kg) × オフセット割合(%)
オフセット割合は、支援システム上、全量、半分のほか、任意の%も入力可能です。

暫定オフセット料金の試算と料金表の作成

乗車料金 (円)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	暫定 オフセット料金(円)
710	1	5
800	1	5
890	1	5
980	1	5
1,070	2	10
1,160	2	10
1,700	2	10
2,600	3	15
3,500	4	20
5,300	6	30
...
...

- 排出権単価4.935円(4.7円に5%の消費税を加算したもの)で計算
- オフセット割合は全量と仮定
- 正式オフセット料金は、事前購入した排出権の単価で計算

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：その2(タクシー)続き

(5) オフセット料金徴収方法の決定

- 降車時に乗車料金に上乗せして徴収？ → オフセット料金分の領収書をどうするか？
- タクシーメーターを改修？



または、(1)のオフセットサービスを導入する自社商品・サービスの再検討へ？

(6) 利用客等への情報提供方法の決定

情報提供媒体：ホームページ、車内チラシ

改修タクシーメーターの領収書にオフセット料金も印字できるようにする 等



(7) 商品の概要決定

支援システム利用申請書の提出へ

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：**その3(旅行)**

(1) オフセットサービスを導入する自社商品・サービスの決定

環境への意識の高い企業・団体・学校等の団体客の獲得手段とする

団体旅行に決定

(2) オフセットの対象範囲を決定し、排出量を試算

- ・飛行機、鉄道、貸切バス、レンタカー、ホテルのうち、どこまでを対象とするか
- ・システムに登録済みの原単位を用いるか、固有の原単位を用いるか
(飛行機、鉄道、貸切バスは登録済み原単位あり。レンタカー、ホテルは固有の原単位を登録する必要がある、対象から外すのが得策。)
- ・支援システム体験版を利用すると排出量の試算が簡単(任意)

参加後はもちろん「お試し計算」機能が利用可能

“かんたんオフセット”の場合、
入力不要(オフセット金額のみ入力)

業種別の算定方法、登録原単位、入力項目

業種	本システムでの名称	準拠する算定方法	システムに登録する原単位	毎回入力する項目
航空	離発着地オフセット	Defra(英国環境・食料・農村地域省)の算定方法	—	発地、着地、人数
鉄道	区間距離オフセット	J-COFガイドライン	kg-CO ₂ /人km	区間距離、月数、人数
	料金オフセット	J-COFガイドライン及び、当財団ガイドライン(4頁脚注6)	kg-CO ₂ /人km、人km/円	プリペイドカード等の金額
路線バス	区間距離オフセット	当財団ガイドライン(3頁)	kl/人km	区間距離、月数、人数
	料金オフセット	当財団ガイドライン(4頁)	kl/人km、人km/円	プリペイドカード等の金額
貸切バス等	走行オフセット	当財団ガイドライン(5頁)	km/kl	走行距離、乗車人数、オフセット人数
タクシー	乗車料金オフセット	当財団ガイドライン(10頁)	kg-CO ₂ /円	乗車料金額
	料金帯毎輸送距離オフセット	当財団ガイドライン(8頁)	km/kl、料金帯毎平均輸送距離	料金帯別乗車数
宅配	荷物オフセット	当財団ガイドライン(13頁)	kg-CO ₂ /個	宅配個数
レンタカー	利用時間オフセット	当財団ガイドライン(15頁)	利用時間あたり平均走行距離、クラス別燃費	契約上の利用時間
旅客船	人kmオフセット	当財団ガイドライン(17頁)	kg-CO ₂ /人km	航行距離、人数
ホテル	宿泊日数オフセット	当財団ガイドライン(19頁)	kg-CO ₂ /室・日	宿泊日数
旅行	旅行オフセット	航空はDefra(英国環境・食料・農村地域省)の算定方法、鉄道はJ-COFガイドライン、貸切バス、レンタカー、ホテルは当財団ガイドライン(5,15,19頁)	上記該当原単位	上記該当項目

(注)赤字は既存の統計データに基づいて計算した値を初期値として登録済み。

CO2排出量の試算例

旅行先	移動手段	移動内容	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)
沖縄本島 (3泊4日)	飛行機	羽田 - 那覇 往復	13,920
	貸切バス	沖縄本島内移動	194
	計		14,114
北海道道東 (3泊4日)	飛行機	羽田 - 釧路 往復	8,360
	貸切バス	道東内移動	233
	計		8,593
ホノルル	飛行機	成田 - ホノルル 往復	59,360

- 仮定：
- いずれも旅行者数は40人
 - いずれも空港集合
 - 貸切バスには、40人が乗車、40人がオフセット実施
 - バス移動距離は、沖縄250km、北海道300km

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：**その3(旅行)続き**

(3) 排出権の選択

支援システム上の選択肢：

現在はCER[4.7円/kg(税抜き)]のみ。6月からJ-VERと国内クレジットを追加。



(4) 暫定オフセット料金*の試算とオフセット割合の決定

*暫定オフセット料金 = (3) で選択した排出権の単価(円/kg) × 排出量(kg) × オフセット割合(%)

オフセット割合は、支援システム上、全量、半分のほか、任意の%も入力可能です。

暫定オフセット料金の試算

旅行先	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	排出権単価* (円/kg)	オフセット割合	暫定** オフセット料金(円)	同左、一人当たり (円/人)
沖縄本島 (3泊4日)	14,114	4.935	全量	69,653	1,741
			半分	34,826	871
			25%	17,413	435
北海道道東 (3泊4日)	8,593	4.935	全量	42,406	1,060
			半分	21,203	530
			25%	10,602	265
ホノルル	59,360	4.935	全量	292,942	7,324
			半分	146,471	3,662
			25%	73,235	1,831

* :4.7円に5%の消費税を加算したもの

** :正式オフセット料金は、事前購入した排出権の単価で計算

支援システムを用いたカーボンオフセット 商品企画の手順例：**その3(旅行)続き**

(5) オフセット料金徴収方法の決定

例：団体からの旅行代金徴収時に、合わせて徴収（銀行振込）



(6) 利用客等への情報提供方法の決定

情報提供媒体：パンフレット、ホームページ、団体への企画提案資料 等

証明書：団体宛て一括（個々人分データを個別入力すれば、個々人宛ての証明書の発行も可能）



(7) 商品の概要決定

支援システム利用申請書の提出へ

システムの体験版が利用できます。

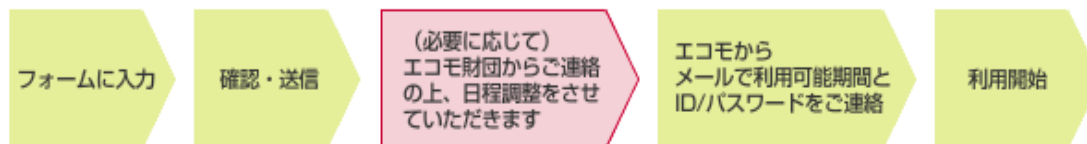
(エコモ財団ホームページの申込フォームに入力・送信)

交通・観光カーボンオフセット支援システム

支援システム体験版利用申込フォーム

支援システム利用申請に先立ち、システムを試してみたいという方はこちらからお申し込み下さい。

【手順】



体験版の利用可能期間は原則2日間としますが、希望者が多い場合には短縮させていただくことがありますので、ご容赦下さい。

全ての項目についてご入力ください

業種	<input type="radio"/> 航空	<input type="radio"/> 鉄道	<input type="radio"/> 路線バス	<input type="radio"/> 貸切バス
	<input type="radio"/> タクシー	<input type="radio"/> 宅配	<input type="radio"/> レンタカー	<input type="radio"/> 旅客船
	<input type="radio"/> 旅行	<input type="radio"/> ホテル		
体験版利用開始希望日	利用開始希望年 <input type="text" value="▼"/>	利用開始希望月 <input type="text" value="▼"/>	利用開始希望日 <input type="text" value="▼"/>	
事業者名	<input type="text"/>			
部署名	<input type="text"/>			
担当者名	<input type="text"/>			

(以下、フォームが続く)

Ⅱ. モデル事業の募集について

モデル事業の目的と概要

交通・観光カーボンオフセット支援システムを利用した取組みを促進するため、他の交通・観光事業者のモデルとなりうる取組みを募集し支援を行い、その普及を図ろうというもの

募集内容

■交通・観光カーボンオフセット支援システムを用いた、カーボンオフセットの取組みに関する事業計画で、他の交通・観光事業者のモデルとなり得るもの

■ただし、当該取組みによるオフセット付き商品・サービスが、平成22年12月末日までに導入(実施)できるものに限る

支援内容

「支援対象期間」に発生する「支援対象経費」について、
「支援限度額」の範囲内で資金支援

(1) 支援対象期間

取組みの準備段階から、オフセット付き商品・サービスを導入して1カ月後までの期間とします。

(2) 支援対象経費

選定された事業計画を実施するための経費で、第三者に支払うものを対象とします。

ただし、交通・観光カーボンオフセット支援システムの年間利用料やクレジットの購入費用は除きます。

(3) 支援限度額

1事業計画につき30万円を限度とします。

応募資格

交通・観光カーボンオフセット支援システムの対象となっている業界(*)の事業者であって、応募した事業計画を円滑に遂行するために必要な実施体制と管理能力があるもの

*航空、鉄道、バス、タクシー、宅配、レンタカー、旅客船、旅行、ホテル

選定基準

(1) カーボンオフセットとしての適切性

オフセットの対象範囲、排出量の算定方法、オフセット料金の設定方法等は適切か。

(2) 実施可能性

実施に際しての障害はないか。

(例：オフセット料金を利用客負担とする場合の徴収時期・場所・手段に問題はないか。)

(3) 取組み事業者の目的達成の手段としての有効性

本取組みにおける事業者の目的(CSR、商品差別化等)達成の手段として効果的か。

(4) 他の事業者への波及可能性

他の交通・観光事業者も取り組めるものであり、普及が期待できるか。

選定方法

交通エコロジー・モビリティ財団による
予備審査



交通・観光カーボンオフセット支援システム
運営委員会にて審査、選定

必要に応じて、審査に先立ち応募事業者へのヒアリング等を実施します。

選定後の手続き

(1) 交通・観光カーボンオフセット支援システムへの参加登録(未登録者のみ)

(2) 支援契約の締結

- ▶ 選定案件の実施事業者と交通エコロジー・モビリティ財団は支援限度額を記載した支援契約を締結
- ▶ 契約期間は、契約締結日(平成22年8月下旬を予定)から支援対象期間終了日(ただし、平成23年1月末日以前とする)までとします。

(3) 報告書の提出

- ▶ 支援事業実施報告書(A4判用紙1ページ以上。仕様については別途提示)
- ▶ 支援対象経費内訳精算書(領収書等の証憑を添付すること)

応募の方法等

(1) 応募書類の書式(応募様式)について

- ▶交通・観光カーボンオフセットモデル事業計画書【様式1】(必須)
- ▶交通・観光カーボンオフセットモデル事業必要経費内訳【様式2】(必須)
- ▶補足説明資料【様式自由】(必要に応じて提出)

【様式1】及び【様式2】については、ファイルをエコモのホームページよりダウンロードして作成して下さい。

(2) 提出先

交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部
所在地：〒102-0076 東京都千代田区五番町10(五番町KUビル3階)
メールアドレス：carbonoffset@ecommo.or.jp

(3) 提出方法

電子メール及び郵送での提出が必要です。

スケジュール

平成22年7月9日	募集締切
平成22年7月下旬予定	交通・観光カーボンオフセット支援システム運営委員会において審査の上、選定
平成22年8月下旬予定	契約締結
平成22年12月末日以前	オフセット付き商品・サービスの導入
平成23年1月末日以前	契約期間終了
上記から10日以内	実施報告等の提出

応募書類の記入方法

【様式1】

【様式1】

交通・観光カーボンオフセットモデル事業計画書

1. 事業者名	計画書提出事業者名を記入する。
2. 業種	<input type="checkbox"/> 航空 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 宅配 <input type="checkbox"/> レンタカー <input type="checkbox"/> 旅客船 <input type="checkbox"/> ホテル <input type="checkbox"/> 旅行 ※1つ選択*1



***1 兼業の場合、本事業計画に関わる業種を選択します。**

旅行業以外で、複数業種(例:鉄道とバス)にまたがる事業を提案する場合は、主たる業種を選択します。

【様式1】続き

3. 事業名	応募する事業計画の名称を記入する。
4. 事業の内容	カーボンオフセットを導入する商品・サービス、対象となる利用客などを記入する。 必要に応じて補足説明資料を添付する。
5. 導入予定時期	平成22年〇月〇日～〇月〇日 選定された場合の当該商品・サービスの導入予定時期を記入する。 ただし、平成22年12月末日以前でなければならない。
6. 支援対象期間 *2	平成22年〇月〇日～平成2〇年〇月〇日 *2に従って記入する。ただし、平成23年1月末日以前に終了しなければならない。
7. 取組みの目的と期待される効果	1. 取組みの目的 [] (例: "CSR(企業の社会的責任)の一環"、"他社商品・サービスとの差別化のため")
	2. 期待される効果 [] (例: "環境問題への関心の高い女性利用客の新規獲得が期待される")
8. オフセットの対象範囲	オフセットするCO2排出量の対象範囲を記入する。 (例: "バス運行に伴う排出"、"旅行のうち飛行機とバス利用に伴う排出")

補足説明資料の様式は自由です。
チャートを使うなどして、分かりやすくご記載下さい。

【様式1】続き

9. 支援システムで使用する
排出量算定方法 *3,*4,*5
※該当業種内で選択(複数選択可)



- | |
|---|
| 1. 航空 |
| <input type="checkbox"/> “離発着地オフセット”: Defra(英国環境・食料・農村地域省)の算定方法*6に準拠 |
| 2. 鉄道 |
| <input type="checkbox"/> “区間距離オフセット”: J-COFガイドライン*7に準拠 |
| <input type="checkbox"/> “料金オフセット”: J-COFガイドライン及び、当財団ガイドライン*8、4頁脚注6に準拠 |
| 3. バス |
| 3-1. 路線バス |
| <input type="checkbox"/> “区間距離オフセット”: 当財団ガイドライン3頁(乗車料金区間毎の排出量算定)に準拠 |
| <input type="checkbox"/> “料金オフセット”: 当財団ガイドライン4頁に準拠 |
| 3-2. 貸切バス等(高速バスを含む) |
| <input type="checkbox"/> “走行オフセット”: 当財団ガイドライン5頁に準拠 |
| 4. タクシー |
| <input type="checkbox"/> “料金帯毎輸送距離オフセット”: 当財団ガイドライン8頁(乗車料金帯毎の平均輸送距離を用いた算定)に準拠 |
| <input type="checkbox"/> “乗車料金オフセット”: 当財団ガイドライン10頁(乗車料金当たりの排出量を用いた算定)に準拠 |

*3 支援システムの排出量算定WEBページに頼らず事業者自身で算定し、支援システムに対して「かんたんオフセット」報告をする場合も、選択した算定方法に従うものとしします。

「かんたんオフセット」: WEBページでCO2排出量計算をせず、オフセット料金だけを入力する報告方法

【様式1】続き

*9 旅行においてどの排出源による排出をオフセットの対象とするかは、旅行業者の判断に委ねられます。

5. 宅配 <input type="checkbox"/> “荷物オフセット”:当財団ガイドライン13頁に準拠
6. レンタカー <input type="checkbox"/> “利用時間オフセット”:当財団ガイドライン15頁に準拠
7. 旅客船 <input type="checkbox"/> “人kmオフセット”:当財団ガイドライン17頁に準拠
8. ホテル <input type="checkbox"/> “宿泊日数オフセット”:当財団ガイドライン19頁に準拠
9. 旅行 <input type="checkbox"/> “旅行オフセット”:航空はDefra(英国環境・食料・農村地域省)の算定方法、鉄道はJ-COFガイドライン、貸切バス、レンタカー、ホテルは当財団ガイドラインにおけるそれぞれの算定方法に準拠*9
10. その他 <input type="checkbox"/> 上記以外の算定方法*10 → 詳細を説明した補足説明資料を必ず添付すること

*10 省エネ法で採用されている算定方法等、明らかに合理的な想定に基づく算定方法に限ることとします。
複数業種にまたがる事業提案の場合も本欄に該当します。

【様式1】続き

10. オフセット料金の設定方法	[] (例: 上記9. で算出したCO2排出量×オフセット料金単価×オフセット割合50%)
11. 利用客によるオフセット料金負担の有無	<input type="checkbox"/> 利用客による負担有り 利用客からのオフセット料金の徴収方法 [] (例: "事後の銀行振込"、"サービス提供の都度、その場で現金徴収") <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <input type="checkbox"/> 利用客による負担無し(=事業者負担)
12. オフセット報告の方法	1. 報告のタイミング <input type="checkbox"/> 都度で報告(サービス提供の都度、1件ごとに報告) <input type="checkbox"/> まとめて報告(サービスを提供した翌月の月末までにまとめて報告) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 2. 報告に際してWEB上で排出量計算をするか <input type="checkbox"/> WEB上で計算する <input type="checkbox"/> WEB上で計算せず、オフセット料金額を入力するだけで報告 (「かんたんオフセット」)
13. 情報提供方法 ※複数選択可	<input type="checkbox"/> 事業者ホームページ上への掲載 <input type="checkbox"/> ポスターへの掲載 <input type="checkbox"/> チラシへの掲載 <input type="checkbox"/> その他 []

【様式2】

【様式2】

交通・観光カーボンオフセットモデル事業支援対象経費内訳*1

事業者名:

事業名: (【様式1】の事業名欄と同じ)

支援対象期間*2: 平成22年〇月～平成2〇年〇月 (【様式1】の支援対象期間欄と同じ)

支援対象期間に発生する 支援対象経費*3	算定根拠	支援対象経費算定額	うち支援希望額*4
1. ○○○費 2. △△△費			
合計			

*1 支援対象期間における支援対象経費の総額と支援希望額を記入して下さい。

*2 支援対象期間: 取組みの準備段階から、オフセット付き商品・サービスを導入して1カ月後までの期間とします。

*3 支援対象経費: 選定された事業計画を実施するための経費で、第三者に支払うものを対象とします。

(例: システム改修費、ホームページ作成費、ポスター・チラシ制作費)

ただし、交通・観光カーボンオフセット支援システムの年間利用料やクレジットの購入費用は除きます。

*4 支援希望額の合計は支援限度額(30万円)以下とします。

